

インターバンクの声（2015 年 4 月 24 日）

昨晚のニューヨーク市場の序盤は、新規失業保険申請件数が市場の減少予想とは裏腹に千件近くも増加、その後の3月の新築住宅販売件数も低調だったことから円買い・ドル売り相場となった。これに株価の値下がりが増えればセンチメントは一気に悪化するところだったが、企業決算では3MやGMが市場予想より弱い発表となったものの、ダウ・ケミカル、キャタピラーなどが堅調な結果を示したことで上昇に転じたため、為替市場でのドル続落を防ぐ効果もあったようだ。また、原油相場がサウジアラビア軍によるイエメンへの攻撃による供給不安や米国内での原油減産観測による上昇も株価上昇に繋がっていたようだ。少し前の時代であれば、原油価格の上昇は米国経済にとってもマイナスだったが、米国が自前での原油調達が可能となったことや巨大なシェールガスの保有国となったことで、原油価格の上昇が米経済にプラスになる時代になってしまった。日本も周辺海域に埋蔵されているとされるメタンハイドレートの採掘が可能な時代になれば、原油価格の変化による為替相場の変化も今までとは全く違うものになるのだが、当分はそうした話の現実化はなさそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。